

## 「親子キャンプ」

～あかぎであそぼう！！～

### 1. 趣旨

幼児の発達段階に応じて、「36の基本的な動き」を取り入れた運動を行い、成長を促す。保護者対象のプログラムでは、36の基本的な動きについて説明し、その重要性について理解を促す。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

平成30年10月20日(土)～21日(日)

#### (2) 参加者

①参加対象 幼児(年中、年長を含む)とその保護者 ※兄弟がいる場合も可

②参加人数 33名(10家族) (応募総数36名)

群馬県前橋市10名、高崎市9名、伊勢崎市4名、館林市2名、  
埼玉県滑川町3名、長野県長野市5名

### 3. 企画運営のポイント

- ・「36の動きを取り入れた運動遊び」では、興味・関心を持って、繰り返し遊べるよう、段ボールで作成した場や遊具を用いた8つの場を用意する。
- ・「遊びリンピック」では、4種目を親子で競い合い、各種目3位までにはメダルと賞状をプレゼントする。
- ・「読み聞かせ体験会」では、講師による親子一斉と親だけの読み聞かせを行うとともに、学生ボランティアによる幼児への読み聞かせを行う。
- ・「長七郎山登山」では、親子で一緒に自然を感じながら登る。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
10月 20日 (土)		はじまりの会 36の動きを取り入れた運動遊び体験 遊びリンピック	「絵本の読み聞かせ体験会」 講師：前橋市読み聞かせグループ連絡協議会(田子智代、馬場由佳里、高橋陽子、青柳聡) 講義「幼児期に身体を使って遊ぶ」 講師：国立赤城青少年交流の家所長 松村純子
10月 21日 (日)	遊びリンピック表彰式 長七郎山登山	終わりの会	

## 5. 主な活動内容



「一本橋を渡ろう」



「トンネルくぐり」



「おやつをプレゼント」



「空き缶積み」



「絵本の読み聞かせ」



「長七郎山登山」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足8名(80%) やや満足2名(20%) やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・普段やらない動きで、全身の動きが良くなった感じがした。
- ・子供が意欲的に、やりたい遊びやルールを守って遊び、順番を決めて納得しながらできたことが大きな成果だと思う。
- ・親向けの読み聞かせの時間があるのがよかった。
- ・山登り自体が初めてだったが、自然に触れたり、難しいことに挑戦したりすることで自信もついたと思う。
- ・プログラムの項目がとても面白いものばかりで、また参加したい。ボランティアがいたおかげで、子供2人でも無理なく参加できて本当に助かった。

### (3) 成果

- ①「36の動きを取り入れた運動遊び」「遊びリンピック」ともに、子供達の運動量や親子で取り組む様子から見て、プログラムの内容は良かった。
- ②「読み聞かせ体験会」は、パネルシアターや絵本の内容が良かった。また、親子で分かれて活動を行ったのは良かった。
- ③「長七郎山登山」は、登る距離や高低差から考えても、幼児にとって丁度良かった。

### (4) 課題

- ①幼児はキャンセルがあるため、もう少し足で稼ぐ広報をして、参加者を増やすようにする。
- ②幼児の動きの想定をする。(登山・食事・入浴時間にゆとりを持たせる。)
- ③食事の際に使う幼児用のイスやおむつ替え室、授乳室、昼寝室など幼児用の設備・準備の充実を図る。

担当 企画指導専門職 田村 文明